

従来の無産政黨の行方と變じて眞に國民大衆を包容する無産政黨たらしむべく其の爲には支那結成の如きを策せらず、且つ役員の銜衝に於ても一方に偏した人物を避けてある模様が見はる。

二、縣務本部所在地問題に付き開會前の特料

縣務本部設置場所に就ては小倉説と八幡説との兩派相對立し開會前容易に纏まらず一時大會の成立を危ぶまれたのであつた。

即ち小倉説を主張するのは田川之光吉悦心であつて、之に門司（高次）小倉等が合流し重として第四選舉區の關係者之に當り、之に對し八幡説は八幡の米村、上田等の八幡派を中心に戸畑、道賀、嘉穂等第二選舉區關係者之に當りて相對峙したのである。

其の理由とするところは八幡派では他の無産政黨本部が八幡に在るのて之れが對抗兩派上必要なりと主張するので、小倉派は小池田藤氏の地盤關係と八幡に本部を設くれば勢ひ書記長を八幡に導はるゝので感情問題も加はり議論すること遂に午前五時四十分になり及んだのであるが本部員等の態度に依り遂に角本部を小倉に置き黨務局を八幡に置くことゝなつて一應折會つたけれども其後八幡派に於ては之に満足せず何等かの對策を講じてある様である。

かくて定期一時開會のところ午前五時前になつて漸やく開會することゝなつた。

三、日時、七月十六日 午前五時五十五分

四、會場、小倉市藤山劇場